

# フィールドスタディ

選 択 開講年次：2 年次集中 科目区分：実 習 単 位：2 単位 講義時間：60 時間

■**科目のねらい**：道内外のデザイン先進企業・デザイン関連施設、歴史的建造物・現代建築の先進事例等の調査を通じて、社会・産業へのデザイン適用上の知識・ノウハウについての理解を深める。事前調査研究において、現地研修での調査の目的や対象の特徴についての十分な検討・調査を行い、現地研修後にレポートをまとめる。研修のしおりや調査レポート等の作成を通して企画・表現力も学ぶ。また、道内研修先の一つとして札幌市内、または近郊の施設を選定し、事前調査・現地調査を通して、対象施設と地域の関わりについて知見を深める。なお、本科目は建築士受験資格の取得に必要とされる指定科目（建築計画）である。

■**到達目標**：①事前学習により、デザインの役割や社会的位置付けを理解する。  
②社会・産業におけるデザイン実務の研究を通じて、基本的なデザイン開発やデザイン手法を習得する。  
③歴史的建造物や博物館・美術館等を調査することにより多様な文化への理解を深める。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎若林 尚樹・安斎 利典・武田 巨明・石田 勝也・大島 卓・松永 康佑

■**授業計画・内容**：

第 1 回 オリエンテーション（4月12日）

第 2 回 現地研修に関する説明（5月10日）

第 3 回 現地研修先に関する解説（6月14日）

第 4 回 現地研修先の事前調査研究（1）とプレゼンテーション（7月5日）

第 5 回 現地研修先の事前調査研究（2）とプレゼンテーション（7月26日）

第 6 ～28回 現地研修（8月～9月）

第29、30回 報告会および講評（9月16日）

道外（3日）：デザイン先進企業・デザイン関連施設、歴史的建造物・現代建築等の先進事例の調査

道内（1.5日）：札幌市内、または近郊の企業、研究施設等のデザイン現場調査、歴史的建造物・現代建築等の調査

■**教科書**：なし

■**参考文献**：なし

■**成績評価基準と方法**：事前調査レポート30%、授業態度20%、報告会での発表20%、調査レポート（作品）30%を、総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート	◎			的確なレポート作成	30
授業態度	○	○	○	積極的な姿勢	20
プレゼンテーション	○	◎	○	報告会等でのプレゼンテーション	20
課題・作品		○	◎	調査レポート(作品)	30
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：キャリアデザイン、インターンシップ

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：・現地研修は8月～9月に実施予定。現地研修欠席の場合は、単位は認められない。

・現地研究にかかる費用（交通費・宿泊費・入場料等）は、学生負担とする。

・学生が中心となり、現地研修・研修のしおり・調査レポート等の企画や進行を行う。

・本科目は事前調査研究と、これに基づく現地研修での調査と、調査結果を分析・考察したレポートおよび報告会という一連の実践的実習であり、修学旅行的なものではない。